

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年4月3日

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	B
横断的な課題	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保				
地域重点政策	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保				
実施機関	上松技術専門校		担当課	所属	上松技術専門校
事業名	林業・木材産業の人材確保、ブランディング等推進事業			電話	0264-52-3330
				E-mail	agemagisen@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	「上松技術専門校」の知名度UP及び訓練生の確保			
	現状と課題	上松技術専門校は、県内外から入校があり、また、修了生も県内はもとより、県外でも活躍し、木材産業の振興を担っている。一方、今後の少子化の進展による労働人口の減少に伴い、入校生の減少が危惧される。(定員 40名 志願者数 R5 31名 R6 42名 R7 52名) 木材産業の人材確保のためにも上松技術専門校の魅力、木工の魅力を広く伝え、訓練生の確保に繋げていくことが必要である。			
	内容 (変更後の内容)	上松技術専門校の魅力、木工の魅力を広く伝えるため、木工・家具作家、木材産業に従事し活躍する修了生を紹介する冊子を作成し、多くの方が訪れる技能祭(訓練生作成による木工製品の展示・即売会 R8.3.5~6開催)や、職業安定所、訓練生の就職を受け入れている企業、訓練生の出身校等へ配布することで木曾(上松技術専門校)で学ぶことを呼び掛ける。それにより、「木工といえば上松」、「木を学ぶなら木曾」のアピールへ繋げる。 また、巻末には近い将来、全国募集を行う木曾青峰高校や林業大学校の紹介も掲載する。			
	事業期間	令和7年7月		～	令和8年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	修了生PR冊子作成事業	修了生への取材、PR冊子の作成	999,900	委託料(取材費、冊子デザイン代・印刷代等)	
	合計		999,900		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	冊子の配布による上松技術専門校及び木工の魅力PR		500冊	500冊作成 約250部配布	○ 達成
					○ 一部達成
					● 未達成
事業実績・成果	【事業実績】 ・本冊子は上松技術専門校修了生の活躍を紹介することで、本校で学ぶことの魅力を伝え、木工を志す者へ入校を促す目的で作成したもの。 ・冊子には木曾青峰高校、林業大学校、フォレストバレーの取組みを紹介するページを設けており、フォレストバレー事業の認知度の向上につながる内容とした。 ・500部を作成し、半分ほど県内外の関係機関、家具木工系の教育機関に加え、より多くの人々の目にも触れるように県内市立図書館をはじめ、金融機関などにも配布したが、取材及び編集に想定より時間がかかり、完成が2月末で配布期間が短くなってしまったため、配布部数は目標の500部に届かなかった。 冊子を手にとった人を通して口コミの拡散も期待している。				
	【成果】 ・インスタグラムで本冊子を紹介したところ、「手に入れたい」という希望者の反応も見られており、配布場所や冊子の中身を工夫したことが、上松技術専門校の魅力、木工の魅力を広く伝えることにつながったと考えられる。				
今後の方向性	・今回作成した冊子の残部は、入校希望者の求めに応じるとともに、今後の見学会参加者や就職先、いす展、技能祭等で配布し、本校の魅力発信に活用し、本校への入校生の確保、木曾地域の交流人口の増と木工・木材産業の人材育成につなげる。 ・また、冊子データをホームページ、PR素材等で活用することで本校の魅力を発信し、木工業界を担う訓練生の確保に取り組む。				